

令和2年の同窓会活動



同窓会長 後藤 信義

昭和47年度 英語英文学科 卒業

はじめに

会員の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大で、直接的・間接的に被害を受けている方がおられるのではないかと心配をしています。また、政府・自治体の外出自粛要請を受けて、不自由な生活を送られたことと拝察致します。

日頃は、「岐阜大学教育学部同窓会」の活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度は、コロナ感染症の影響で、様々な活動制限の中、同窓会活動を展開してきました。

共感と連帯

コロナが明らかにした人間の課題の一つに、「良識」があります。SNSへの投稿、医療関係者等への誹謗中傷など、「良識」からほど遠い事例が垣間見えました。しかし一方で、日本政府は、緊急事態対策で、諸外国に多い外出「禁止」ではなく、「要請」という言葉で国民に自粛を求めた結果、国民は事態を理解し、総てとはいえないにしても、「良識」が生きて機能したのではないかと思います。

この良識の礎は、人と人の繋がり、共感と連帯です。連帯の意識と行動や社会の共助の動きも新たに始まっています。コロナは、人間や社会に大きな変化をもたらしました。

岐阜大学教育学部同窓会も、母校の発展を願って、この共感と連帯の基に、理念や伝統を大切にしつつ、組織と活動の現状を検証し、みんなで智恵を出しあって、変革すべきところは変革していくことが必要であると痛感しています。

書面表決による理事会及び評議会

令和2年6月に予定しておりました理事会・評議会は、コロナの拡散に伴う政府の緊急事態宣言が続く中、書面表決の形で実施しました。理事・評議員の皆さんのご協力により令和元年度の事業報告、決算報告、及び令和2年度の事業計画及び予算案がすべて承認されました。また、次期同窓会長候補者推挙委員会を立ち上げました。

岐阜大学基金「新型コロナウイルス感染症緊急学生支援事業」への支援及び御礼

岐阜大学ではコロナ感染症の影響を受け、保護者等の家計の急変やアルバイト収入が激減するなど、就学に困難を抱えている学生が多数出てきています。これらの

学生に対し、岐阜大学同窓会連合会より、卒業生の皆さまに岐阜大学基金をお願いしたところ、多くの方々に支援・協力をしていただきました。本当にありがとうございました。今後も、後輩の在学生への学習継続支援にご賛同をいただきますようお願い致します。

個人模擬面接指導の実施

今年度、教育学部の教職サポート室の計画にしたがい、同窓会会員による教員採用試験に伴う個人模擬面接を実施しました。

これは、教員採用の第二次試験に、全ての都道府県市で個人面接が設定されており、これに対応するためのものです。面接練習に約15分程度、その後指導に10分程度を目安に行いました。

私も、面接官を担当しましたが、どの学生も、真剣な眼差しで、てきぱきと質問に答えていました。是非、教員採用試験に合格して欲しいと思っています。

母校の岐阜大学の進化・発展

同窓会の会長の任を受けて以来、激励や今の大学の状況を聞かれる機会が増えました。大学や教育学部がどのように、進化・発展しているかは、歴代学部長さんがこの会報で紹介していますが、話題性のある事柄について、記載しますので、詳細はインターネット等で検索していただければ、ありがたいです。

- ・「ぎぶ清流入試」の実施：岐阜県に特化した教員を目指す人を募集する推薦入試です。「岐阜県の教員は、岐阜の大学で養成する」ことを目指す一環です。
- ・名古屋大学との法人統合：法人としての事務管理組織を統合し、効率化を図ることを目的としています。岐阜大学は、これまで通り今後も存続し、地域の拠点として機能しています。
- ・教職大学院の発展：岐阜大学には、現職が学べる教職大学院があります。学校管理職養成コースと教育実践開発コースの2コースです。経験知に加え、学問知が修得できます。
- ・義務教育学校(岐阜大学附属小中学校)の設置：令和2年度より附属小・中学校は義務教育学校(名称：岐阜大学附属小中学校)となりました。小中一貫学校と異なり、独自のカリキュラムや教科担任制などが仕組みられています。詳細は、研究発表会等で入手願います。
- ・教育学部同窓会主催の「教育実践研究論文」の募集：働き方改革が加速していますが、学校への期待は増加の一途をたどっており、教員の資質・能力の向上は喫緊の課題です。昨年度募集要項を大幅に変更しました。自己研鑽の場として今年度も多くの応募を期待しています。
- ・「同窓会会報」の改善：昨年度から、同窓会会報も進化しています。卒業生へのインタビューの紙面が、従来は教員中心の活動記事が多くありましたが、同窓会員は、教員以外の職業に従事しておられる方も多いため、その方々の紹介も加えました。また、紙面もコンパクト化しています。

教育学部・教育学研究科の 充実と発展のために



教育学部長 別府 哲

同窓会の皆様には、日頃より大変お世話になっております。ここでは教育学部・教育学研究科の現状と課題について、簡単にご報告させていただきます。

1. 岐阜県で働く質の高い教員を数多く輩出するために

教育学部・教育学研究科の最大のミッションは、岐阜県を中心とした地域の、特に小中学校で働く質の高い教員を数多く輩出することにあります。同窓会の皆様が、各現場などでこの一翼を担って日々ご努力いただいていること、重ねてお礼申し上げます。大学として現在取り組んでいることを二つ、紹介させていただきます。

① 令和3年度から、ぎふ清流入試の定員増と前期入試の全員面接導入－教員志望の高い学生の入学

学部においては令和元年度入試より、岐阜県の教員になる意志を集団・個人面接の両方で確認する「ぎふ清流入試」を実施しました。そこで入学した学生はともにも意欲的で、学部の雰囲気を変えてもらっています。教育学部としては令和3年度入試より、この「ぎふ清流入試」の定員を増やし、かつ前期入試にも全員に教員志望を確認する面接を導入することとしました。少子化に伴う学生定員減もあります(30名減)が、入学時点で教員志望を明確にもつ学生が多く入学する枠組みを作ることができました。上記のミッションにつながることを強く期待しています。

② 令和4年度からの教職大学院の拡充(案)－教科専門の深い学びと結びついた専門性の高い教員養成

大学院では令和4年度より、現在の修士課程にある教科領域を組み込む形で教職大学院の拡充を行うことを検討しています。具体的には教職大学院の中に新しく「教科指導能力開発コース(仮称)」を作り、それぞれの教科を深く学び、かつそれと教職を結びつけ高い専門性を持った教員を養成します。これにより質の高い教員養成とともに、教員のライフサイクルに応じたりカレント教育としての機能強化を行えるものになると考えています。

2. コロナ感染症の中で－教育実践としての大学教育

さて皆様も同様かと思いますが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、学校・大学においてもその日常が問い直される時代に入りました。教育学部・教育学研究科も今年度前期は、実技・実験などで一部対面を入れつつ、基本はオンラインで授業を実施しました。2月の学校一斉休業宣言、4月の緊急事態宣言など事態が突然推移する中での苦渋の選択でした。一方、教育学部・教育学研究科については全学生・院生に対し、オンライン実施前に通信環境に関する個別調査を行い、一方で学部独自で全教員にオンライン授業に関する研修を二日実施しました。これは、「一人の漏れもなく学生ができる限り質の高い授業を受講できるように」という思いからでした。授業評価では、学生からいくつかの問題点も指摘してもらいつつ、一方で「毎回先生がレポートに添削をしてくれてとてもよかった」という嬉しい感想をもらう授業も多くありました。教員からも準備が大変だったという声とともに、一人ひとりの声を拾えることで今まで知らなかった学生の姿を発見できたという意見も多く聞かれました。

大学教育も、教育実践の一つです。当然ではありますがその事実を強く再認識させられました。一方オンラインだけでは充実しにくい内容(五感を使った体験、仲間との議論、人間教育など)もあります。大学独自の主体的なカリキュラムマネジメントが求められています。

最後になりますが、岐阜大学は今年度より国立大学法人東海国立機構岐阜大学となり、名古屋大学と協力して教育・研究の向上を目指すことになりました。一方岐阜大学教育学部・教育学研究科のミッション(質の高い教員を数多く輩出)は最初に書いた通りで変わっておりません。今後も皆様の変わらぬご理解とご支援をどうかよろしくお願いいたします。

令和2年度 岐阜大学教育学部同窓会役員

役員		
会長	後藤 信義	S47 英語
副会長	黒田 隆吉	S47 地学
	清水 優子	S50 家政
	矢嶋 英敏	S51 英語
理事	村瀬康一郎	S53 数学
総務部会	◎ 村瀬康一郎	S53 数学
	○ 高木 敏彦	S48 史学
	高橋 和子	S49 美術
	森 社	S51 化学
	河合 鋭夫	S52 技術
	◎ 加藤 直樹	S54 物理
組織部会	○ 高橋 忠明	S48 技術
	和合 保	S54 数学
	興戸 律子	S54 数学
事業部会	◎ 原 尚	S53 体育
	○ 末松 豊生	S54 教育
	林 敦郎	S50 国語
	小野木 卓	S53 哲学
	大塚 弘士	S54 史学
	森 透	S55 地学
	松井 徹	S56 数学
広報部会	◎ 今井 亜湖	H 8 技術
	○ 竹市 安彦	S49 美術
	大石 英文	S49 国語
	古田 信宏	S54 教育
	菱川 洋介	H16 数学
監査	石子 裕朗	S45 体育
	古田 雅通	S47 国語
	近藤栄美子	S53 家庭

◎部会長 ○副部会長

評議員		
国文	遠山 健二	S62
	吉永 康昭	H5
	富山 哲成	H8
	大前 剛士	H16
	丹下 侑輝	H19
史学	旭 健	S47
	高木 敏彦	S48
	武藤 貞昭	S49
	川部 誠	S52
地理	國枝 孝治	S58
	小牧 直樹	S45
	小林 直樹	S50
	豊島 博	S58
	堀江 秀樹	S58
	新井 恒雄	H6
法経	村井 俊之	S56
	横田 稔	S57
	丸山 靖生	H3
	日比野 崇	H16
哲学	古川 徹	H19
	近藤 新八	S43
	柘植 卓伸	S52
	國定 幸敏	S53
	榎井 奈津子	H元
数学	奥村 直也	H5
	瀧 政昭	S48
	中川 敏之	S50
	日置 貢	S53
	熊崎 盛敏	S55
物理	名取 康夫	S57
	奥田 好紀	S56
	若曾根 隆	S58
	堀部 昇	S61
	市原 隆行	H2
	竹腰 宣行	H3
化学	興戸 浩道	S54
	服部 公彦	S57
	白木 和雄	S59
	酒井 茂	S61
	田辺 美樹	S61
生物	安藤 志郎	S43
	大野 伴和	S52
	井上 好章	S53
	渡辺 寛樹	H9
	細江 達三	H18
地学	小栗 敬彦	S42
	森 透	S55
	浅野 和哉	S56
	古田 靖志	S58
音楽	武藤 正典	H11
	棚橋 弘	S48
	丸山 真姫	S59
	杉本 公彦	S61
	中村 美雪	S63
美術	西脇ひろみ	H 3
	國枝 俊介	S44
	竹市 安彦	S49
体育	水谷 啓	S55
	鬼頭 立城	S60
	清水 也人	H 7
	野原 正美	S55
	清水 康孝	S59
技職	中村 俊彦	S61
	見山 政克	S62
	高橋 茂洋	H 6
	伏屋 敬介	S45
家政	高橋 忠明	S48
	清水 茂樹	S58
	吉田 竹虎	S62
	淀川 雅夫	H7
	清水 優子	S50
英語	河井 洋子	S57
	山下 絵美	H15
	小林 明奈	H16
	坂 真紀	H17
	深尾 雅人	S57
教育	高橋 清仁	S58
	服部 照	S58
	山下 敦子	S60
	酒井 猛	S63
	安田 和夫	S53
師範男子	柳川 禎章	S53
	神谷 弘子	S53
	松井みどり	S54
	江崎 麻美	S61
	宮脇 修	S24
青年師範	安藤 俊夫	S25
	石田 幸彦	S24
	今井 昌喜	S25
	服部 真六	S26

理事		
国文	曾我部領史	H8
史学	武藤 貞昭	S49
地理	小牧 壽	S45
法経	清水 泰浩	H2
哲学	谷本 龍馬	S50
数学	中村 昌秀	S49
物理	鈴木 雅史	S50
化学	桐村 良昭	S53
生物	小椋 郁夫	S49
地学	岩田 將之	S48
音楽	棚橋 弘	S48
美術	竹市 安彦	S49
体育	武藤 哲夫	S38
技職	伏屋 敬介	S45
家政	杉山 恵子	S48
英語	高橋 清仁	S58
教育	古田 信宏	S54
師範男子	宮脇 修	S24
青年師範	安藤 俊夫	S25
	石田 幸彦	S24
	服部 真六	S26

(令和2年7月22日現在)

令和2年度 岐阜大学教育学部同窓会理事会・評議会報告

本年度の理事会・評議会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、郵送による書面審議とし、令和2年7月15日までに書面審議書を返信していただきました。令和2年7月22日現在の評議員・理事・役員数は124名であり、書面決議書の回答者数は97名でした。よって審議は成立となりました。

各議案についての集計を行いましたので、その結果についてご報告申し上げます。

第一号議案 令和元年度事業報告及び決算の承認

第一号議案の令和元年度事業報告及び決算が承認されました。(承認 97, 非承認 0)

第二号議案 令和2年度事業計画案及び予算案の承認

第二号議案の令和2年度事業計画案及び予算案が承認されました。(承認 97, 非承認 0)

第三号議案 次期同窓会長候補者推挙委員の選出(5名)

第三号議案の次期同窓会長候補者推挙委員に小林直樹氏、安田和夫氏、友田靖雄氏、高橋忠明氏、杉山恵子氏が選出されました。

令和元年度 教育学部同窓会活動報告

月	総務部会 等	組織部会	事業部会	広報部会
4	7 入学式 15 監査	● 役員変更状況確認	● 第34集印刷開始 ● 教育研修課との打合せ ● 臨時部会；数回	
5	18 運営委員会		● 第34集発行 ● 第34集に係る教育研修課への依頼 21 第34集配布作業	
6	1 岐阜大学創立記念行事 2 理事会・評議会の開催		● 教育事務所長会, 県小中校長会役員会に協力依頼 ● 県教委へ後援申請	2 第1回部会 (担当分担, 細部打合せ)
7		● 会費未納者再請求 ● 1年生IDパスワード配布	● 県教職員互助会へ助成金申請	● 担当者より会報の原稿の作成依頼
8	9 拡大運営委員会			
9				● 印刷業者の選定
10			● 教育事務所訪問 ● 総合教育センター長訪問	● レイアウト, 挿絵, 配置など 1 第2回部会 (編集会議)
11			● 審査依頼；都市教育長会長, 町村教育長会長, 県小中校長会長, 同小校長会長, 同中校長会長	● 会報の原稿の校正 (初校) ● 会報の原稿の校正 (2校)
12		● 会費未納者再請求		● 同窓会報第25号発行・発送
1	9 拡大運営委員会			
2			15 論文概要入手, 予備審査, 最終審査資料作成	
3	25 卒業・修了生に記念品贈呈		3 第二次審査会 11 最終審査会 ● 第35集発行手続き開始	

令和元年度教育学部同窓会決算報告

●一般会計

＜収入の部＞		科目	決算金額
		前年度繰越金	1,481,502
		同窓会費	7,050,000
		雑収入	32
		合計	8,531,534
＜支出の部＞		科目	決算金額
		運営費	1,966,456
		庶務費	1,426,000
		事務管理費	225,639
		役員会費	218,204
		通信費	40,723
		渉外費	55,890
		交通費	0
		組織活動費	1,152,988
		名簿管理費	944,290
		名簿作成助成費	40,000
		同窓会入会式費	168,698
		学部援助費	100,000
		事務援助費	0
		教育文化助成費	100,000
		事業活動費	1,066,686
		成果刊行費	611,820
		会議費	425,949
		事務費	28,917
		広報活動費	2,493,448
		印刷費	1,171,407
		通信費	1,322,041
		次年度繰越金	1,751,956
		合計	8,531,534

●事業活動基金

＜収入の部＞		科目	決算金額
		前年度繰越金	38,755,522
		利息	3,183
		合計	38,758,705
＜支出の部＞		科目	決算金額
		貸金庫料	8,640
		次年度繰越金	38,750,065
		合計	38,758,705

●教育実践事業基金

＜収入の部＞		科目	決算金額
		前年度繰越金	2,834,003
		利息	9
		寄付金	200,000
		合計	3,034,012
＜支出の部＞		科目	決算金額
		教育実践論文顕彰費	412,000
		次年度繰越金	2,622,012
		合計	3,034,012

令和2年7月15日評議会(書面審議)で承認済み。

令和元年度(第35回) 教育実践研究助成事業の報告

事業部会長 原 尚
昭和53年度 体育学科 卒業

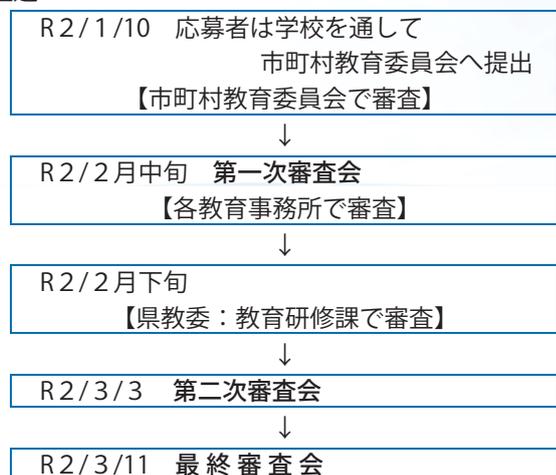
1 応募状況と傾向

応募者総数：966人(前年度1,035人)

- ・応募総数の前年度比69人減は、教職員数の純粋減に拠るものであり、全教職員数に対する応募者の割合は8%を超える水準を維持している。働き方改革が叫ばれている中、本事業の意義は学校現場等にも理解されていると考える。
- ・例年通り、20代・30代の応募が全体の8割を占めている。今日的な課題である若手の育成に積極的な学校現場の様子がうかがえる。
- ・管理職からの応募が、この5年間の中では最高の24編あった。特に「チーム学校」としての取組実践とも言える事務職員との共同研究が複数編あった。
- ・小中別、教科別の内訳は、例年とほぼ同様の傾向であるが、管理職からの応募が例年より多かったことから「管理経営領域」の増加が顕著であった。

2 審査会の報告

(1) 経過



最終審査会は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、審査員への紙面提案とし承認された。その後、入賞者の各論文を掲載した「教育実践研究入賞者論文集第35集」を編集、5月下旬に県内の各教育機関・学校へ送付した。

(2) 審査の観点(令和元年度改定)

- ①教育の今日的な課題を踏まえ、解決の方向が明確になっているか。
- ②願う子どもの姿、指導意図、指導方法等は明確になっているか。
- ③児童生徒の成長や変容の姿がよく現れているか。

- ④研究及び実践内容に創造性・妥当性が見られ、説得力のある論文であるか。

(3) 令和元年度「最優秀賞」

那加第二小学校 教諭 本間 祐一

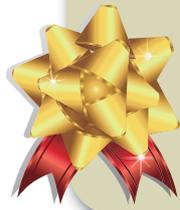
「よりよい社会の実現を目指す子が育つ社会科学習」
～社会への関わり方を
選択・判断する授業を通して～

- *今日的課題である「社会参画」に焦点化し、指導内容を「社会への関わり方を選択・判断する授業」に特化した鋭角的な取組である。
- *実践の前後を比較した調査や抽出児童の変容から指導の手立ての有効性を分析、検証しており成果と課題が明確である。
- *「3ステップの単元構成」「選択・判断の授業構成」は、児童が主体的に関わろうとする思いが醸成される段階的な指導であり、これからの小学校社会科指導のモデルとなっている。

3 今後に向けて(最終審査会から)

- ・どの論文からも実践者の情熱が伝わってきた。多年度にわたる継続研究や新しい分野への挑戦など教師自らが学び続けようとしている姿に敬意を表したい。
- ・仮説の表記の仕方は一考したい。「具体化する」とは長く説明することではなく、簡潔かつ焦点化して記述することである。
- ・令和元年度、応募者や審査に携わっていただく方々の負担軽減を図るため、募集要項や審査の在り方を一部改善した。その結果、より主張点が明確になった論文や論文としてのスタイルが整った記述が増え、より多くの視点からの審査を行うことができた。令和2年度も同様に進めたい。





令和元年度(第35回) 岐阜県小中学校 教育実践研究論文受賞者一覧

最優秀賞(1編)			
各務原市立那加第二小	本間 祐一	よりよい社会の実現を目指す子が育つ社会科学習 ～社会への関わり方を選択・判断する授業を通して～	<社会>

優秀賞(9編)			
岐阜市立長良小	梅田 智敬	「決断力」を育む社会科学習の在り方 ～自ら社会への関わり方を決め出し、歩み出していける子を求めて～	<社会>
山県市立高富中	小谷 公也	「深い学び」を生み出す数学科学習の創造 ～生徒一人一人の資質・能力の育成を目指して～	<数学>
大垣市立時小	勝野 陽介	数学的な思考力を高める算数科学習 ～主体的・対話的で深い学びを実現する数学的活動の在り方～	<算数>
大野町立中小	片倉 陽子	どの子にとっても学びやすい学校を目指して ～通級指導教室経営と特別支援教育コーディネーターとしての働きかけを通して～	<特別支援>
関市立博愛小	小川 佳広	自他の命を大切にできる児童を育てる学級活動 ～教科等横断的な学習、外部との連携を通して～	<特別活動>
美濃加茂市立太田小	岩久 祐介	よりよい社会への関わり方を考える児童の育成 ～児童が主体的に学ぶ学習活動を通して～	<社会>
多治見市立滝呂小	江崎 紀子	「安心感」の中で失敗を恐れず挑戦する子の育成 ～UD化の視点を取り入れた学習環境と「自己有用感」を育む対話的な価値付けを通して～	<学級経営>
瑞浪市立明世小	尾崎 エミリ	言葉を獲得し、活用できる子を育てる国語科指導 ～語彙指導に重点をおいて～	<国語>
高山市立栃尾小	立田 香菜	生涯にわたり主体的に健康管理ができる子の育成 ～一人一人に寄り添った歯・口の健康づくりを通して～	<健康安全>

優良賞(40編) ※主題・副題は省略して紹介します。								
岐阜市立長良東小	飯沼 広樹	音楽	海津市立城山小	平岡 史奈子	体育	御嵩町立上之郷中	研究推進委員会	その他
岐阜市立長良東小	佐伯 康輔	道徳	養老町立上多度小	安田真奈美・古川尚路	学校運営	多治見市立精華小	土松 拓生	社会
岐阜市立陽南中	小池 正人	保健体育	垂井町立東小	渡邊 匡洋	道徳	土岐市立泉中	稲山 竜太	保健体育
岐阜市立陽南中	西田 薫	国語	垂井町立合原小	志知 香	人権教育	瑞浪市立瑞浪小	中島 芽衣子	その他
岐阜市立陽南中	松本 将史	数学	神戸町立神戸中	宮川 景行	技・家	恵那市立恵那西中	遠藤 啓太	社会
羽島市立中央小	野田 剛志	特別支援	安八町立名森小	鈴木 健斗	体育	恵那市立恵那西中	土屋 孝政	美術
羽島市立羽島中	服部 正宏	社会	揖斐川町立谷汲小	岩間 美保	健康安全	恵那市立恵那東中	山本剛・樋口忠司	特別活動
各務原市立川島小	中野 美奈子	学級経営	関市立南ヶ丘小	田中みな子	音楽	中津川市立神坂中	林 賢治	数学
各務原市立那加中	足立 美穂	管理経営	美濃市立美濃中	前田 佳洋	社会	高山市立北小	奥田 真弥	理科
岐南町立北小	白井 あかり	健康安全	郡上市立吉田小	武藤 恵里佳	外国語活動	飛騨市立古川小	山本 泉	保健体育
北方町立北方小	森 孝太	国語	郡上市立白鳥中	小島 剛太	その他	下呂市立下呂小	野本 亜津沙	特別支援
瑞穂市立穂積中	松本 啓資	特別活動	美濃加茂市立古井小	旗屋 啓吾	管理経営	白川村立白川郷学園	高木 良太	特別活動
本巣市立根尾中	石井 豊晃	英語	可児市立西可児中	高木 恵子	英語			
大垣市立宇留生小	玉腰 裕子	学校事務	八百津町立和知小	杉本 繁征	社会			

新人賞(24編) ※主題・副題は省略して紹介します。								
岐阜市立岩野田小	土屋 優海	健康安全	大垣市立西小	山本 晃大	社会	美濃加茂市立太田小	佐伯 祐斗	社会
羽島市立竹鼻小	野村 賢太郎	道徳	養老町立養老小	湯山 智香	外国語活動	可児市立今渡北小	竹田 菜奈子	健康安全
各務原市立那加第二小	渡邊 貴也	社会	垂井町立東小	堀 美幸	道徳	御嵩町立向陽中	加藤 友依	技術・家庭
山県市立高富小	高橋 健	外国語活動	安八町立名森小	谷本 真由美	体育	中津川市立蛭川小	奥富 竜斗	算数
瑞穂市立南小	柴 瑞貴	体育	大野町立東小	中 悦子	図画工作	土岐津中	今西 賀寿真	道徳
本巣市立真桑小	曾我部 宗	体育	池田町立池田中	細江 美香	英語	瑞浪市立瑞浪中	後藤 茉奈美	英語
岐南町立北小	川瀬 まい子	国語	関市立津保川中	中瀬 育世	国語	飛騨市立河合小	水野 礼菜	健康安全
北方町立北方南小	篠原 好美	学級経営	美濃市立昭和中和	篠田 真由子	音楽	下呂市立萩原小	梶田 美幸	道徳

第35回教育実践研究論文の優良賞・新人賞の主題・副題は、同窓会ホームページよりご覧いただけます。



岐阜大学教育学部版 教育実習ノートの作成・配布

岐阜大学教育学部同窓会では、入学時に同窓会に入会した学生向けの事業として、本年度から新たに「教育実習ノートの作成・配布」を開始しました。

岐阜大学教育学部では、全国の教員養成系大学・学部在先駆けて、2004年度入学生から、4年間を通して実際に学校現場に出向いて学習する実習プログラム「ACT(Active Collaboration Teaching：行動的連携教育計画)プラン」(現在は「ACTプラン・プラス」に名称変更)を行なっています。

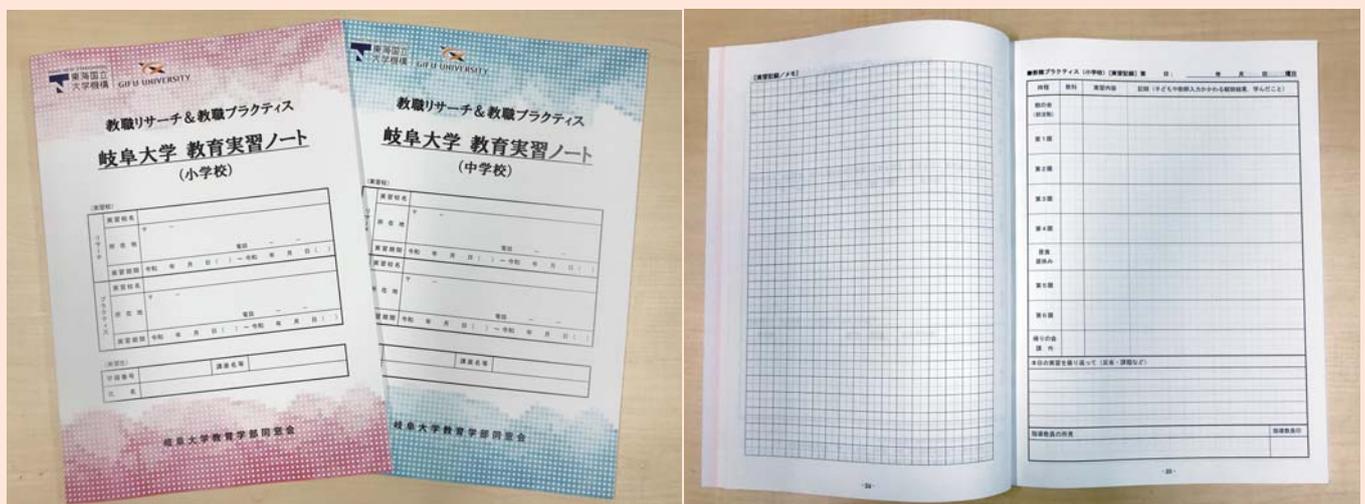
1年次の教職トライアルでは、附属学校において「学習者」の立場ではなく、「教師」の立場から教育活動の実際を参観する実習をとおして、教職への視野を広げます。2年次の教職リサーチでは、小学校・中学校の実習校で各1週間ずつの参加型の実習を行い、実際に教育活動に参加しながら、教師という仕事や教育活動とは何かについて学びます。3年次の教職プラクティス(教育実習)は、小学校・中学校で各4週間の教育実習を行います。この実習では、教材研究や授業準備、そして実際に授業を行う活動を通して、実践的な教育活動の基礎を習得します。そして、4年次の教職インターンでは、希望する岐阜県の市町村の学校でインターンシップ型の実習を行い、様々な教育活動を手伝うことで実践的な学校教育の理解と教師としての資質を高めます。

これまで、2年次の教職リサーチでは大学で印刷・配布された実習ノートに、3年次の教職プラクティスでは購入した市販の実習ノートに、それぞれ実習で学んだことを毎日記録していました。しかし、使い勝手や負担軽減の面から、学生や実習校から改善を求める声が上がっていました。

こうした学生や実習校の先生方の声を踏まえるとともに、実習期間だけでなく、実習後も折に触れて自分の学びを振り返るツールとしてより効果的に活用できるよう、同窓会では小学校版と中学校版の2種類の実習ノートを作成しました。

それぞれの実習ノートは、前半が教職リサーチ用、後半が教職プラクティス用になっており、各実習に関する留意事項、実習を行う上で必要な情報を記録するページ、毎日の実習の記録を書きとめるページなど、実習中に学んだ全ての事柄をこの実習ノートに全て記録できるようになっています。また、実習校にて学生の指導を行なう教員のコメント欄のデザインにも配慮し、実習校の指導教員の負担を軽減できるようにしました。

COVID-19感染拡大により、本年度の教職リサーチおよび教職プラクティスは実習期間を短縮して実施することになりましたが、同窓会が作成した岐阜大学教育学部版実習ノートを学生全員が携行し、それぞれの実習に臨みました。



教員採用試験対策 個人模擬面接

COVID-19感染拡大により、本年度の授業は5月から始まりましたが、教育学部の前期科目のほとんどはオンライン授業で実施することになりました。6月上旬に文部科学省から「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインについて」の通知が出され、これを受けて、教育学部では3密対応を講じることを条件に、対面での授業を行わなければならない科目の実施が許可されました。

教員採用試験対策のための学習会も6月から3密対応を講じながら再開されました。今年度の個人模擬面接にも多くの同窓生の皆様に模擬面接官として協力いただきました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。



模擬面接官を務めてくださった同窓生のみなさま(敬称略)

後藤 信義, 吉田 政直, 清水 優子, 矢嶋 英敏, 河合 鋭夫,
大塚 弘土, 和合 保, 森 透, 桑原 利光

また、同窓生でもある附属小中学校の古賀英一校長、中村俊彦副校長にも模擬面接官を務めていただきました。ありがとうございました。

訃報

教育学部附属学習協創開発研究センターの加藤直樹教授が10月4日に急逝されました。

加藤教授は、教育学部同窓会の組織部会長を長年務められ、同窓会の名簿管理のシステム化等に従事されました。また、研究者としては、学校教育における教育効果を高めるためのICT(情報通信技術)活用に関する実践的研究に取り組み、教育現場のICT活用を促進するために、小・中学校の教員のみなさんとの共同研究も数多く行われました。教育者としては、学部および大学院の授業担当のほか、教育学校図書館司書教諭、社会教育主事任用資格、博物館学芸員、高等学校情報免許など、多くの資格・免許に関わる科目を担当され、加藤ゼミからは多くの卒業生・修了生を輩出されました。

加藤教授のこれまでのご功績に敬意と感謝の意を表すとともに、ご冥福を心よりお祈りいたします。



【加藤直樹教授略歴】

岐阜大学教育学部物理学科卒業後、岐阜県の公立小・中学校教員を経て、鳴門教育大学大学院学校教育研究科を修了。1993年から岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センターに勤務。岐阜大学総合情報メディアセンター教授を経て、学長補佐、教育推進・学生支援機構副機構長を歴任。2017年から岐阜大学教育学部附属学習協創開発研究センター教授。文部科学省ICT活用教育アドバイザーをはじめとする各種の委員会、審議会の委員を歴任。2020年から国立大学教育実践研究関連センター協議会の会長に就任。日本教育工学会、日本教育情報学会、大学教育学会などに所属し、教育情報化に関する実践的研究を小学校から大学まで幅広く進めた。2012年からは学校関係者等とタブレットPC教育利用研究会を毎月開催し、知識創発型の協働学習の研究開発を主導した。

退職教員のご紹介

令和2年3月31日をもって、退職された教員は次の通りです。

根岸 泰子	教授	国語教育
佐藤 昌宏	教授	美術教育
伊藤 英	教授	学校教育(教職基礎)

新人先生奮闘記

美濃加茂市立加茂野小学校教諭 平木 克明

平成 29 年度 社会科教育（史学）卒業



担任として子どもたちに最初に話したことは

正直に言うと、初めて子どもたちを前にしたときとても緊張して、話したことの大半を忘れてしまいました。ですが、1つだけはしっかりと覚えていることがあります。それは「仲間や友達を大切にしてください」ということです。私は小学生のころからずっとハンドボールをやってきました。その中で、チームプレーの大切さや仲間の存在の大きさというものを事あるごとに感じていました。特に大学時代には、競技復帰に1年間かかるほどの怪我をして、もうハンドボールを諦めようかと迷う時期がありました。ですが、そのときに試合で仲間が頑張っている姿を見ることやいろいろな人が励ましの声をかけてくれたことで元気が出ました。その中でも特に同級生の存在というのが自分の中でとても大きく、「ずっと一緒にやってきた同級生のみなんと最後まで一緒にハンドボールがしたい」という気持ちが強くなり、諦めず4年生の引退までやりきることができました。このような自分の経験から、このことだけは最初に子どもたちに伝えたいとずっと思っていました。

教員になってよかったなと思うときはどんな時ですか。

まだ私は教員になって3年目と短いですが、教員になってよかったなと思うことができた場面がいくつもありました。その中でも特に思い出深いことがあります。それは2年前の運動会での「ソーラン」です。今お世話になっている加茂野小では、毎年4年生の種目にソーランがありました。私は子どもたちのお手本として一緒に踊ることになりました。私にとって初めて学年全体を指導する役割になったので、最初は自分の指導で子どもたちの運動会の出来が左右されると思うと緊張や不安を感じることもありました。しかし、踊りに詳しい先生や前年度までにお手本として踊った先生方と放課後に一緒に踊りの練習をし、アドバイスを頂く中で次第に自信がついていきました。子どもたちとも「半端ないソーラン」を合言葉に声の大きさや姿

勢、1つ1つの踊りのキレや全体での隊形移動を細かい所までこだわり練習を積み重ねていきました。時には私から子どもたちに厳しい言葉を投げかけることもありましたが、その言葉に負けじとさらに頑張る姿が見られてとても嬉しかったことを今でも覚えています。本番で子どもたちと一緒に本気で踊りきり、会場全体に「半端ないソーラン」を見せられたことは私の『宝物』といっても過言ではありません。このソーランのように子どもたちと一緒に何かをつくりあげることや、目標に向かって努力することが最高に楽しい瞬間であり、その中で輝いている子どもたちの姿を見るといつも自分は「教員になってよかったな」と思います。

後輩の岐阜大学生へメッセージを贈るとしたら。

現在、岐阜大学の教育学部で教員を志望する人数が減っているという話を聞きました。私も在学中の教育実習や実際に教員になってみて、大変で忙しくストレスも少なくない職業であると感じました。ですが、それらが吹き飛ばすほどの喜びや楽しさを感じられる職業であるとも思っています。自分も最初は分からないことだらけで、不安に思うことは山ほどありましたが、その度に周りの先生方や子どもたちに助けをもらいました。そんな優しさと温かさが溢れている職業です。同じ大学で学んできた皆さんと一緒に働ける日をとても楽しみにしています。





岐阜市立三輪北小学校長

杉本 公彦

昭和 61 年度 音楽学科 卒業

今の仕事について教えてください。

岐阜市立三輪北小学校の校長をしております。岐阜市の北部にある全校児童 99 名、明治 5 年創立の約 150 年の歴史と伝統ある学校です。校庭が全面芝生で、子どもたちは裸足で元気よく遊んでいます。校区には国指定重文「釈迦如来坐像」や県指定重文「釈迦涅槃図」などが有名な真長寺、落語の祖と言われる安楽庵策伝ゆかりの浄音寺を始めとして、様々な歴史や文化のある地域で、子どもたちの落語クラブが落語を披露したり、松尾芭蕉の十大弟子「各務支考」ゆかりの地として全校で俳句づくりにも取り組んだりしている学校です。このように様々な歴史や文化に包まれた素敵な地域で、明るく元気な子どもたちや、温かい保護者、地域の方々に支えられながら、充実した毎日を過ごしています。

岐阜大学で学ばれたことが今に生きていますか。

私自身、大学時代は音楽にどっぷりと浸かった 4 年間でした。そこでは「音楽の楽しさ」だけでなく「音楽の魅力を見つける力」を育てて頂いたと思っています。それは音楽の教師として自分の教育観の基となってきたと思っています。

後輩の岐阜大学生へ贈る言葉をお願いします。

教育学部として、学校教育だけでなく社会教育や家庭教育など、幅広く学ば

れることをおすすめします。教職に就く就かないに限らず、人としての自分を磨くことにつながるからです。

最後に、以前年度末に発行した「学校だより」の一部を紹介させていただき、原稿を閉じたいと思います。

[幸せを引き寄せるための習慣]

「夢をもつ」ことは、それ自体に大きな価値をもっていますが、その夢を叶えるためには、ただ願っているだけでは前へ進みません。大切なのは夢の実現に向かう過程そのものが「価値ある生き方」であることです。それが「幸せ」につながるものです。そのために、こんな考え方で毎日の生活を送ることが、幸せを引き寄せる生き方だと思っています。

①学校だけでなく、世界中が自分の学びの場

スポーツ少年団の卒団式に参加をさせていただいた時、ユニフォーム姿の子ども達は、いつも学校で出会う顔と、また違う表情を見せてくれました。スポーツをより専門的に学び、そのスポーツのもつ「楽しさ」を味わうこと、挨拶や礼儀を学ぶことなど、スポーツ少年団の活動が一人一人の大切な「学びの場」となっているのだということであらためて強く感じました。

このことに限らず、ボランティア活動、地域の活動など、いろいろな人と出会い、共に活動する中から得られるものは、自分を大きくしてくれるものです。

また、もっと身近な日常に目を向けても、ありとあらゆる場面が、ちょっとした気持ちの持ち方ひとつで学びの場となります。例えば、料理や掃除、洗濯などでも、単なる作業として行うのではなく、「新しいことを発見するぞ」と決めて、いつもと視点を変えてやってみることが、貴重な学びの場となるのです。

②とにかくポジティブに

笑顔で毎日過ごすことです。初めは空元気だっていいのです。誰だってしかめっ面の人よりも笑顔の人に話しかけたいものです。「でも、無理、どうせ…」とネガティブなことばかり言っている人のところには、チャンスはやってきません。

③感謝の気持ちをもつ・伝える

周りには本当に素敵な人たちがたくさんいます。毎朝、雨の日も雪の日も、ずっと子ども達の安全な登校を見守ってくださる方、子ども達に文化やふるさとの魅力を語って下さる方、子ども達のために「何でもするよ」と何よりも優先して下さった保護者の皆さん。雨の日には、子ども達の傘が壊れないようにと、一本一本、全校の子の傘を丁寧に縛ってくれている先生。何よりも子ども達一人一人の幸せを願って頑張ってきた全ての職員。

「感謝の気持ち」をもてるのが、幸せを引き寄せる生き方の原点だと思っています。



岐阜県警察 岐阜羽島警察署

野田 了

平成21年度 保健体育講座 卒業

今のお仕事について教えてください。

平成21年4月に岐阜県警察官になりました。平成22年7月から、岐阜県警察本部警備部機動隊に警察術科である剣道の指導者を育成することを目的とした剣道特別訓練員として10年勤務しており、全国規模の各種大会にも出場しています。また、機動隊員として東日本大震災、御嶽山噴火、東北土砂災害等における行方不明者の捜索出動に従事してきました。令和2年3月より、岐阜羽島警察署にて勤務しております。

岐阜大学で学んだことが役に立ったと感じるときはありますか。

一般的な教養もありますが、何よりも協調性と人間性(ユーモア)を養えたことだと思います。警察官という職業は、多岐にわたり、部下の指導や現場での指揮、多衆の前で講話や相談事などの市民応接、事故事件現場での現場説諭、その他事務的業務等があります。これらのほとんどは、勤務員間相互で連携し、協力して行っていかなければなりません。勤務するもの以外の連携については、警察官という職業以外でも同様だと思います。ここで重要だと思うのは、先に述べた協調性と人間性(ユーモア)です。社会では勤務する者同士が足並みを揃えていくことが求められます。一人でも歩調が乱れば業務に隔たりが生まれ、そのことから人間関係や業務に問題が生じ、負の悪循環へとつながります。社会で求められ

ていることは、『良い仕事は良い環境から』です。これを実現実行するためには非常に重要なことだと思います。

また、職場実習として教育実習や介護研修など長期間の研修で仕事の現場の雰囲気を感じたことや、授業が各講座単位で動くなど、集団生活の中からも協調性と人間性(ユーモア)が身に付いたと思います。部活動についても、その糧となったと思います。特に、教育実習では現場の教師として複数の学級において授業を行ったことから、一体感のある学級がいかに授業を行いやすいかを知り、協調性がある者の存在がいかに重要なものかを知ることができました。そのことから私は協調性の重要性を知ることができました。これら貴重な経験は私にとって財産ですし、今後も生かさなければならぬと思います。

岐阜大学卒業後に新たに学んだことや、学び直したことはありますか。

私は大学を卒業後、恩師、先輩、仲間存在の大きさを学びました。私の大学時の同級生のほとんどは目標であった教員になっており、諸先輩方もほとんどの方が教員として活躍されております。私は警察官という道を選んだことで、職種や業務は大きく異なります。しかし、お互いの職業での苦労話や悩み事を相談することもあります。また、私が剣道をしていることから学校で剣道を指導されている先生方から指導についての相談を受けることもあります。

警察官になっても同じで、同時期に警察官を拝命した同期生というのがこの存在です。職務上、または私生活上の仲間で、悩みを共有、また相談できる仲間でもあります。どの職業上においても一人は存在すると思います。それらの存在の大きさを学ぶことができました。

岐阜県は私にとって縁もゆかりもない土地であり、大学卒業後もこのような交流があることは、生涯の財産として大切にしなければならぬと思います。

後輩の岐阜大学生へ贈るメッセージをお願いします。

私は大学時代、日々の生活の中で何かを目標に過ごしていたのではなく、ただ大学生活を漠然と過ごしていました。今は無駄な時間を過ごしたのかなと少し思います。その私が1つアドバイスをするとすれば、達成すべき目標を立てて日々の生活を過ごすことです。目標を達成するために、何をしなければならぬのか、どうすることが目標達成には必要であるのか、目標を達成するために些細なことから大きなことまで考え行動することをお勧めします。そうすることで、もし目の前にクリアしなければならない問題が生まれたとき、どのように取り組むことがベストか、どのようにクリアしようかという思考力と実行力を養うことができると思います。

今のままでいいのか、行動するのは今ではないのかと常に向上心をもって、日々の生活を送ることをお勧めします。



国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

研究推進部

永井 明德

平成18年度 社会科教育講座(哲学) 卒業

今の仕事について教えてください。

岐阜大学で事務職員として勤務しています。平成30年4月からは研究推進部にて、研究の事務的なサポートや推進にかかわる業務に従事しています。また、平成27年から2年間は教育学部総務係で勤務し、教育学部の先生方とともに仕事をしていました。

岐阜大学で学んだことが役に立ったと感じるとき

教育実習が一番印象に残っていて、担当していただいた先生方には大変感謝しています。私にとって、大変貴重な時間でした。特に、児童生徒のことを考えた先生方のマインドは、別業種であっても非常に参考になっています。実習で得られた大きな学びは、授業準備には膨大な時間が必要で、成果が得られるまでの時間と努力は惜しんではいけないということです。例えば、今の業務で会議の運営をやっておりますが、会議自体は短いことに越したことはありません。会議を円滑に進行できるような資料の作成や準備を心掛けて、努力を惜しまずに取り組んでいます。

岐阜大学卒業後に新たに学んだことや学び直したこと

縁あって文部科学省行政実務研修生として、文部科学省にて1年間業務をさせていただく機会をいただきました。教育行政の最前線で勤務させていただけたことで、たくさんの学びをさせていただきました。もちろん、

全ての業務が直接今の仕事には直結していないかもしれませんが、自らの生活に降りてくるまでのルートを感じ取ることができました。

また、疑問に思ったことをそのままにしないことや自らの学びを止めないことを学び直し、今でも心掛けています。例えば、大学の先生方の研究は、わからないことだらけです。しかし、その内容を少しでも理解できれば、研究推進やサポート業務の円滑な進捗が見通せます。また、大学生の頃は学部全体で行う講義をされている先生の専門など知らないことばかりでしたが、事務職員として改めて先生方の研究に関わり、『こんな研究をされているのか！』などと驚くことがあります。物事の価値が時間を経てわかることもあると感じました。すぐにわからなくても、今後わかってくることもたくさんあると考え、学びの姿勢を忘れないようにしています。

後輩の岐阜大学生へ送るメッセージ

ここ10数年の大学の変化を見ていますが、特にここ1年のコロナ禍を含めた変化は、自分が学生だった頃との変化とは比べものならないほど大きいです。大学も一生懸命対応しています。皆さんも色々なことに挑戦し、負けずに日々を過ごしてもらえればと思います。

さて、私は真面目な学生ではなかったのですが、何かメッセージを送れるような立場ではないかもしれませんが、そんな私ですが、現在の仕事を通し

て、先生方は一生懸命に学生のことを考えてくれていることに気付きました。皆さんには、そういった思いを感じ取れる、受け取れる人になって、自らも自分の考えや思いを発信できる人になってほしいです。また、色々なことに興味を持ち、色々な経験をしてほしいです(もちろん、勉学も一生懸命やってくださいね)。その中で何か打ち込めるものを見つけ、自分の核になるような考え方や一緒に高めあえる仲間を得てほしいなと思います。勉学以外にバイトや部活など、何でも構いません。



各学科同窓会の活動

事務局より原稿依頼を行い、原稿が届いた学科のみ掲載しています。

地学 担当者：安藤 亮
連絡先：恵那市立恵那西中学校 ☎ 0573-25-5245

◇同窓会・研究会活動

○「卒業論文・修士論文発表会」への参加

○「地学年末研修会」の参加

【期日】令和元年12月29日

【会場】石金

【内容】実践交流会、研究会、親睦会など

令和元年度も若手の先生だけでなく、ベテランの先生方、ご退職された先生方からの多くの実践や研究結果の発表をしていただきました。



	発表の先生	発表の主旨や内容
第1部	初任～2校目の若手の先生	日々の授業実践や研究授業での実践報告、開発した教材や作成した指導案を資料として提示し、実践の成果を発表しました。ベテランの先生方から多くのアドバイスをいただく機会になっています。
第2部	中堅で活躍されている先生	授業実践だけでなく、科学の甲子園ジュニアや多種教育実践論文への応募の紹介など様々な取組について報告がありました。
第3部	ベテラン～各方面で活躍されている先生	岐阜県の地質に関する情報、天体に関する様々な取組など、多方面にわたる理科に関する活動について参観者が大変勉強になる機会となりました。

※毎年、12月29日に開催しています。参加していただける方は、事務局まで連絡をお願いします。

美術 担当者：清水 也人
連絡先：岐阜県教育委員会 教育研修課 ☎ 058-271-3456

(1) 令和元年度 同窓会入会式

令和2年3月25日(水)：新型コロナウイルス感染症予防のため、Webにて行いました。

(2) 岐阜県造形連盟ホームページ『ぎふ美術のかぜ2』更新中

同窓生相互の連携と連帯意識を高めるため、そして、美術文化及び美術教育の振興を図るために、本ホームページを開設しています。同窓生の皆様には、ぜひ参加頂き、造形活動をご報告願います。

【岐阜県造形連盟HP】

<http://www.ccn.aitai.ne.jp/~ttms/>



【造形活動報告先】

(HP管理人：鬼頭立城) E-mail: gifuzokei@yahoo.co.jp



「岐阜県造形連盟ホームページ」

数学

担当者：山路 健祐
連絡先：瑞浪市立瑞浪北中学校 ☎ 0572-66-1053

(1)本年度の活動

- 学年代表の方のご協力のもと、わしろう会名簿の更新作業を行いました。
- 今年度は、コロナ感染症のため8月に予定していた夏季研究会を来年度に延期しました。
- 数学科卒業予定者に対して、数学科同窓会「わしろう会」の組織・規約等の説明会を行う。(令和3年1月予定)
- 運営委員会を行い、来年度以降の計画を立案する。(令和3年1月予定)

(2)その他

- 令和3年度5月に「わしろう会総会」(岐阜大学)を予定しております。開催日が近づきましたら、また改めて連絡させていただきます。ぜひ多くの会員様にご参加いただきますようお願いいたします。
- 令和3年度8月に「夏季研究会」(恵那市)を予定しております。
東濃地方の会員の方を始め、ぜひ多くの会員様にご参加いただきますようお願いいたします。

史学

担当者：山元 祐介
連絡先：山県市立美山中学校 ☎ 0581-52-1213

本年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、史明会会員の皆様の健康と安全を最優先に考慮し、8月22日(土)に予定されておりました史明会総会の開催を中止致しました。

事務局としても開催に向けて準備をしておりましたが、想定を上回る事態に苦渋の決断をせざるを得ない状況となり、会員の皆様には大変御迷惑をお掛け致しましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、令和3年度の史明会総会及び講演会・懇親会は、8月21日(土)に開催致します。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

英語

担当者：市村 一
連絡先：岐阜県教育委員会 学校支援課 ☎ 058-272-8859

今年度、学科として、総会等の定期的な活動は行いませんでした。3年に一度実施している総会については、次回令和4年度に予定しています。若い世代の方の参加も増えています。ぜひ、御参加ください。

同窓会名簿等の修正につきましては、事務局までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

技職

担当者：大羽 淳也
連絡先：岐阜大学教育学部附属小中学校 ☎ 058-271-0320

新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、今年度開催を予定しておりました飛騨地区を会場とする3年に1度の総会及び懇親会は、来年度に延期します。



各学科同窓会事務局連絡先

学科	担当者	事務局連絡先	電話
国語	小島光太郎	509-7201 恵那市大井町1073-1	恵那市立恵那東中学校 0573-25-5261
史学	山元 祐介	501-2257 山県市富永64	山県市立美山中学校 0581-52-1213
地理	坂口 亨	503-0851 大垣市禾森1-1	大垣市立安井小学校 0584-78-2762
法経	丸山 靖生	501-0515 揖斐郡大野町桜大門457-1	健康福祉部わかあゆ学園 0585-32-2240
哲学	井上 達也	503-0838 大垣市江崎町422-3	西濃教育事務所 教育支援課 0584-73-1111
数学	山路 健祐	509-6101 瑞浪市土岐町973番地	瑞浪市立瑞浪北中学校 0572-66-1053
物理	竹腰 宣行	505-8508 美濃加茂市古井町下古井2610-1	可茂教育事務所 学校職員課 0574-25-3111
化学	野田 国宏	501-6241 羽島市竹鼻町1295	羽島市立竹鼻小学校 058-392-3000
生物	三橋 直哉	500-8482 岐阜市加納大手町74	岐阜大学教育学部附属小中学校 058-271-0320
地学	安藤 亮	509-7205 恵那市長島町中野1269番地261	恵那市立恵那西中学校 0573-25-5245
音楽	杉本 公彦	501-2512 岐阜市北野東356	岐阜市立三輪北小学校 058-229-1103
美術	清水 也人	500-8384 岐阜市藪田南5-9-1	岐阜県教育委員会 教育研修課 058-271-3456
体育	清水 康孝	501-1203 本巣市文殊120	本巣市立本巣中学校 0581-34-2045
技職	大羽 淳也	500-8482 岐阜市加納大手町74	岐阜大学教育学部附属小中学校 058-271-0320
家政	高松 一恵	501-0322 瑞穂市古橋10番地1	瑞穂市立巣南中学校 058-328-2002
英語	市村 一	500-8384 岐阜市藪田南5-9-1	岐阜県教育委員会 学校支援課 058-272-8859
教育	安田 和夫	503-0974 大垣市久瀬川町4丁目47	0584-78-1883

同窓会からのお知らせ

同窓会のホームページが昨年リニューアルされ、ホームページ上から、住所変更・物故の手続き・会報送付停止手続きや住所不明者の連絡などが簡単にできるようになりました。是非ご活用下さい。



1 「各種手続き」より
「住所変更・物故・会報送付停止」または
「住所不明者の連絡」をクリック



2 必要事項を
入力後
「送信」ボタン
をクリック

これまで通りIDとパスワードを入力し「会員専用システム」へログイン後、ご自分で修正も可能です。同窓生の検索もこちらから行ってください。

同窓会ホームページ
<https://gifudai-kyodoso.jp/>



編集後記

今年度はCOVID-19の感染拡大を受け、様々な変化を余儀なく求められています。岐阜大学教育学部でも、ほぼ全ての講義で非対面授業で対応し、教育実習は例年よりも短縮された期間で実施することになりました。ある学生さんは、「大学に行くのは楽しかったんだと、今とても痛感している」と私に話してくれました。ある曲の歌詞「何でもないようなことが、幸せだったと思う」とはよく言ったもので、普段何気ない日常が奪われることの苦痛を感じています。

しかし、今年度の変化は良いことも生み出してくれました。例えば、今年度の教員採用試験に向けて勉学に励む現4年生の姿に、私は頼もしさを感じました。例年は教職サ

ポート室の先生方に対面で手厚くご指導いただいておりますが、今年度は実施時期が遅れたり回数が激減したりしました。ご指導いただいている先生方にとっては消化不良だったことと思います。しかし、学生たちはオンラインで自主的に学習や面接練習する機会を設け、自らの知識や教育観を高めようと努力していました。私が関わった学生の皆さんは、例年並みの知識とともに、前向きに主体的に考えて行動する力を身に付けていました。

様々な逆境が迫る今日において、その逆境を良い機会と捉えて成長に結びつけることの重要性を、私は学生の皆さんの姿から学びました。皆様はいかがでしょう？

(広報部会 菱川洋介)

同窓会報第26号の表紙

《江戸グラフィック》

藤原光里 (大学院教育学研究科2年)

江戸文字は寄席や歌舞伎に使われてきた、日本文化のひとつです。文字の形が美しく、その迫りに圧倒されます。本作品では、徳川家代々の人物名を書いた江戸文字をレーザーで削り出して縦横に構成し、家系図を表現しています。(協力：技術教育講座)



岐阜大学同窓会報第26号

発行日 / 令和2年11月発行

発行者 / 後藤 信義

発行所 / 岐阜大学教育学部同窓会

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

TEL: 058-293-2344 (平日10時~15時)

FAX: 058-293-2343 (24時間)

E-mail: kyo_doso@gifu-u.ac.jp

岐阜大学教育学部同窓会ホームページ
<https://gifudai-kyodoso.jp/>

